くにみ

【第46号】
昭和36年7月15日発行
非売品
発行所 国見町公民館
発行人 佐藤善次郎
編集人 鈴木美一
印刷所 宇佐美印刷所

◎商店の公休日（毎月二十日）に協力しましょう

近代様式をほこる施設 教育優先の実あがる

二つのよろこび完成

関係地区民はもちろん、全町民が待ち望んでいた二つの大工事、藤田小の体育館と森江野小の水泳プールが、このほど見事に完成して、みんなをよろこばせている。

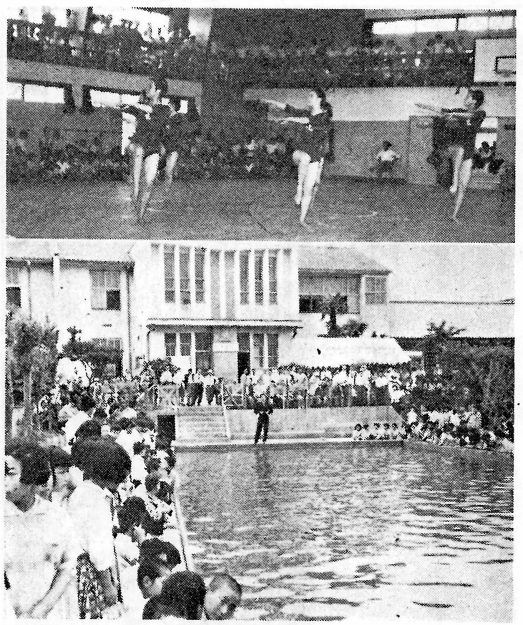
藤田小の体育館は、国見全町の公会堂的性格をもたせるためいものであるかがわれる。町では去る一日、町内外三百余名の来賓を招いて落成式をあげ、土地提供者をはじめ工事関係功労者等に感謝状を贈呈した。

更衣室（男女別）があり、つり上げ式バスケット設備、取り外し式バレーやバトミントンのポール、低鉄棒などを備え集会用折たたみ式椅子三〇〇、豪華などんちょうのほか、シネスコ用スクーリン、暗幕、放送設備もそなえ、全く至れりつくせりである。これらの経費として町費一二四二万円のほか、PTAで別項のような七十余万円の設備寄附をしていることによっても、藤田地区民の熱意がいかに大きいものであるかがわれる。町では去る一日、町内外三百余名の来賓を招いて落成式をあげ、土地提供者をはじめ地の選定、買受けの交渉、資金の寄附募集等をすすめながら町当局に懇請して、遂に二

尚二日には祝賀行事としてPTA主催による福女音楽クラブ、バスケットクラブ員二八名による模範演技及び国見町公民館主催の映画会が行われ、午前、午后、夜の三回にわたって満員の盛況であった。

又七日には児童音楽会を開きさせた。

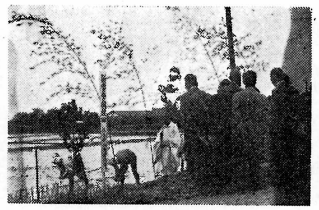
森江野小の水泳プールは五年前からの地区民の要望であった。阿武隈川における同校児童の水死事故は更にこの運動に拍車をかけ、各種団体、住民各層をもうらしてプール建設促進委員会をつくり、土金の寄附募集等をすすめながら町当局に懇請して、遂に二



【写真】(上)藤田小学校屋内運動場 (下)森江野小学校水泳プール

献穀田の田植祭

ことしの秋、天皇陛下に献上する献穀田の田植祭が、去る六月十六日、山崎の八島建次郎さん方の田で行われた。早川県農政課長を始め関係者多数の臨席のもとに、長男好雄氏夫妻まごころをこめて丹念に植えられた。この秋には刈取式を行ない、八島氏夫妻で宮中に伺い、陛下に献上することとなっている。



【写真】は田植の実況

もりあがる町民の熱意

藤田小学校PTA（会長八巻正雄氏）では体育館建設を記念して各種設備を寄附するため、資金の寄附を募集した。

五×八メートルの立派なプールが完成したのである。これには各種団体のほか全戸にわたる勤労奉仕があり、川島組の犠牲的工事施行と相まって町費僅か五〇万円でこの施設ができたのである。現在県内小中学校、九三一校中プールをもっているのは三五校、その中三つがわが国見町にあるという。藤田小の体育館と思いあわせわが町の教育優先ぶりがうかがわれ、うれしい限りである。

三日町内来賓一〇〇名を招き、金校児童と共に玄関前で落成式を開き、赤井畑町長によって紅白のテープを切り、福大早川先生の講演、同学生による各種泳法の模範演技でプールサイドに居並ぶみんなをよろこばせた。

建設促進委員長をつとめたPTA会長石川暢夫氏は、その謝辞の中に「プールをもたない他の学校（小坂、大木戸、大枝にも早くこのよろこびをあたえてもらいたい」といっている。全くその通り、よいことは一日でも早い方がよい。

町議会の畜産視察記（三）

(七) 機械化で一人五千羽の管理

鶏舎は、広大な敷地にヒナ用と成鶏用とわけ、大小二二四棟が、通風と換気を考慮し最新式の鉄骨鶏舎、自動給飼機及び排糞機付（一・五間×一〇間）給飼箱（一・五間）、排糞機の速度は一分間一尻、一羽の鶏が一回三分づつ摂取し、一日十時間運転して二時間飼料をとる。飼料効果はきわめてよく、始終排糞するので換気がよく、成績良好、この方式は一人で五千羽の管理ができる。

その他成鶏用バタリー舎は一五〇間×一・五間のものを平行に建ててある。

(八) 食鶏工場

廃鶏の処理場を作り、手軽に処理する。一七秒で七羽処理する脱毛機その他の加工機を用いて能率を上げている。年間一〇万～一五万羽処理し、機械を採用してから三割の収入増を見ている。

(九) 鶏糞の処理

「火力乾燥機と露天乾燥場の施設を活用して声価を高め汽車によって各地に販売している。現在注文殺到し、応じかねる始末である。（鶏糞を大せつにすることはよく学ばねばならぬと思う）

(十) 出荷は有利に特約

卵質の向上と選卵をモットーとし、洗卵はしない。良質多量であるため値も高く、取引に有利である。現在、東京横浜の三会社と一年制の特約で出荷している。

(十一) 従業員は公務員なみ

従業員は組合長以下約百名で、組合長報酬月十万円以下これにならう。各家庭の妻子は全部従業員として給料は国家公務員と同格である。昭和三十五年度はまだ決算前だがとりあえず三百五十万円を組合員に配当渡すみ、残りは決算後に配当する。

(十二) 結び

組合長彦坂茂一氏曰く

「皆さんはどんな養鶏をしていられるかわからないが、小さな規模で私共のまねをしても、うまくいかないでしょう。まず多頭飼育により、飼料を安く、一人で五千羽も飼える上手な管理、卵、肉、糞を上手に売る。これを行えばよいのです。」

と、又この組合では、卵が一ケ六円でも経営に自信があると、まことに見のがし出来ない重大事であり、われわれの経営が、はたしてこれに対抗できるかどうか、真剣に検討を要する問題である。「自給飼料の作付と畑作改善、魚粉などの購入による自家配合等大いに研究を要すると思う」私共がこれまで考えていた通りである。これが実現にはいたしてどれだけの研究と努力が必要であろうか。今すぐこの組合のように共同化が出来ないにしろ、このような農業経営が行われている現実を見て、心を新にした次第である。今後国見町の農業行政に力強く立上らんことを一同契い合つて帰路についた。

（熊坂生）

まんだん

（大原君 ▷ ◁小吉君）

酒防法（一）

わが国には、昔から、酒は百薬の長と多数の臨席のもとに、長男好雄氏夫妻まごころをこめて丹念に植えられた。この秋には刈取式を行ない、八島氏夫妻で宮中に伺い、陛下に献上することとなっている。

【写真】は田植の実況

献穀田の田植祭

ことしの秋、天皇陛下に献上する献穀田の田植祭が、去る六月十六日、山崎の八島建次郎さん方の田で行われた。早川県農政課長を始め関係者多数の臨席のもとに、長男好雄氏夫妻まごころをこめて丹念に植えられた。この秋には刈取式を行ない、八島氏夫妻で宮中に伺い、陛下に献上することとなっている。

【写真】は田植の実況

もりあがる町民の熱意

藤田小学校PTA（会長八巻正雄氏）では体育館建設を記念して各種設備を寄附するため、資金の寄附を募集した。

五×八メートルの立派なプールが完成したのである。これには各種団体のほか全戸にわたる勤労奉仕があり、川島組の犠牲的工事施行と相まって町費僅か五〇万円でこの施設ができたのである。現在県内小中学校、九三一校中プールをもっているのは三五校、その中三つがわが国見町にあるという。藤田小の体育館と思いあわせわが町の教育優先ぶりがうかがわれ、うれしい限りである。

三日町内来賓一〇〇名を招き、金校児童と共に玄関前で落成式を開き、赤井畑町長によって紅白のテープを切り、福大早川先生の講演、同学生による各種泳法の模範演技でプールサイドに居並ぶみんなをよろこばせた。

建設促進委員長をつとめたPTA会長石川暢夫氏は、その謝辞の中に「プールをもたない他の学校（小坂、大木戸、大枝にも早くこのよろこびをあたえてもらいたい」といっている。全くその通り、よいことは一日でも早い方がよい。

町議会の畜産視察記（三）

(七) 機械化で一人五千羽の管理

鶏舎は、広大な敷地にヒナ用と成鶏用とわけ、大小二二四棟が、通風と換気を考慮し最新式の鉄骨鶏舎、自動給飼機及び排糞機付（一・五間×一〇間）給飼箱（一・五間）、排糞機の速度は一分間一尻、一羽の鶏が一回三分づつ摂取し、一日十時間運転して二時間飼料をとる。飼料効果はきわめてよく、始終排糞するので換気がよく、成績良好、この方式は一人で五千羽の管理ができる。

その他成鶏用バタリー舎は一五〇間×一・五間のものを平行に建ててある。

(八) 食鶏工場

廃鶏の処理場を作り、手軽に処理する。一七秒で七羽処理する脱毛機その他の加工機を用いて能率を上げている。年間一〇万～一五万羽処理し、機械を採用してから三割の収入増を見ている。

(九) 鶏糞の処理

「火力乾燥機と露天乾燥場の施設を活用して声価を高め汽車によって各地に販売している。現在注文殺到し、応じかねる始末である。（鶏糞を大せつにすることはよく学ばねばならぬと思う）

(十) 出荷は有利に特約

卵質の向上と選卵をモットーとし、洗卵はしない。良質多量であるため値も高く、取引に有利である。現在、東京横浜の三会社と一年制の特約で出荷している。

(十一) 従業員は公務員なみ

従業員は組合長以下約百名で、組合長報酬月十万円以下これにならう。各家庭の妻子は全部従業員として給料は国家公務員と同格である。昭和三十五年度はまだ決算前だがとりあえず三百五十万円を組合員に配当渡すみ、残りは決算後に配当する。

(十二) 結び

組合長彦坂茂一氏曰く

「皆さんはどんな養鶏をしていられるかわからないが、小さな規模で私共のまねをしても、うまくいかないでしょう。まず多頭飼育により、飼料を安く、一人で五千羽も飼える上手な管理、卵、肉、糞を上手に売る。これを行えばよいのです。」

と、又この組合では、卵が一ケ六円でも経営に自信があると、まことに見のがし出来ない重大事であり、われわれの経営が、はたしてこれに対抗できるかどうか、真剣に検討を要する問題である。「自給飼料の作付と畑作改善、魚粉などの購入による自家配合等大いに研究を要すると思う」私共がこれまで考えていた通りである。これが実現にはいたしてどれだけの研究と努力が必要であろうか。今すぐこの組合のように共同化が出来ないにしろ、このような農業経営が行われている現実を見て、心を新にした次第である。今後国見町の農業行政に力強く立上らんことを一同契い合つて帰路についた。

（熊坂生）

酒防法（一）

わが国には、昔から、おおめにみられてきたと思われるふしもある。飲酒のエチケットではまさに四等国といわれているわが国にも、公共の福祉を保つために、いよいよ「よっぱらい追放に関する法律」ができ、七月一日から実施された。民主国家の住民として、好むと好まざるとにかかわらず、法の示すところに従わねばならぬ。その道の研究家、大原君と小吉君の登場を願ってご説明をいただくことにする。ちなみに両君は酒仙小原庄助さんの曾孫に当るそうだ。

大「三防法とは何何か」

小「破防法、政防法…？」

大「それ、もひとつ、酒に酔って公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律、略して……」

からと、おおめにみられてきたと思われるふしもある。飲酒のエチケットではまさに四等国といわれているわが国にも、公共の福祉を保つために、いよいよ「よっぱらい追放に関する法律」ができ、七月一日から実施された。民主国家の住民として、好むと好まざるとにかかわらず、法の示すところに従わねばならぬ。その道の研究家、大原君と小吉君の登場を願ってご説明をいただくことにする。ちなみに両君は酒仙小原庄助さんの曾孫に当るそうだ。

大「三防法とは何何か」

小「破防法、政防法…？」

大「それ、もひとつ、酒に酔って公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律、略して……」

小「あ、酒防法か。ところでこの長い名前の法律の目的は何だい」

大「酩酊者の行為をとりしまり、又は保護することによって、酒の飲みすぎが、個人又は社会に害毒を及ぼすことを防ぎ、もってみんなのしあわせを図ってやることだ」

小「酩酊者とは、どの程度のものをさすか」

大「アルコールの影響により正常な行為ができないおそれのある状態にある者と第一条に定められている。さしあたり小吉君などは酒防法適用の対象になるだろうなア」

小「とんでもない。庄助ちいさんの代から、模範的な飲酒家として、世間様からほめられてきたお家柄だ。酒飲みのエチケットだけは忘れないぞ」

大「第二条に、すべての国民は、飲酒を強要する等の悪習を排除し、飲酒について節度を保つように努めなければならないと定められている。節度のある飲酒は、文化人のエチケットだ」

小「では、酒のきらいなものや、たくさんになったものに無理に飲ませてはならないわけだ」

大「そうだ。ほどほどに飲むようにするんだな」

小「よっぱらいをとりしまったり、保護したりするのは誰のやくめか」

大「それはお巡りさんの仕事だ。酩酊者が、公共の場所（道路、公園、飲食店その他）又は公共の乗物（汽車、電車、バスその他）で、粗野又は乱暴な言動をしているとき、警察官は、これを適当な場所に保護する」

小「おやおや」

各農協に巡回文庫を

しばらくやすんでおりました公民館の巡回文庫が、準備完了、次のように各農協にお頼みしましたから、前と同じように御利用下さい。

小坂農協　石母田農協
森江野農協　大木戸農協
大枝農協

尚読書グループを作って貸出文庫も御利用下さい。

（図書部）

議会だより

六月定例議会

六月八日町議会定例会が開かれ、「国見町税条例の一部改正の件など六件」原案可決された。会期は一日、議案は次のとおり

日程第一　国見町税条例一部改正の件（町長提出）
同　第二　国見町国民健康保険条例の一部改正の件（同　前）
同　第三　国見町急性灰白髄炎（小児マヒ）予防接種条例制定の件（同　前）
同　第四　桑折町有火葬場を国見町住民の使用に供させる協議の件（同　前）
同　第五　藤田小学校屋体渡廊下便所建築工事請負契約締結の件（同　前）
同　第六　昭和三十六年度国見町歳入歳出追加更正予算（同　前）

◎完納はわが家のほこり……固定資産税（第二期）、所得税（第一期）の納期は七月三十一日です

季節保育所終る

農繁期保育所も昨年までは徳江南部と塚野目の二ヶ所だつたが、ことしは地区民の切なる要望によつて大木戸地区にも開設したことは、前号で報導された通りであり、父兄からもひじように喜ばれ、来年もぜひやつてもらいたいとの要望が出ている。世話人、保育従事者の方方のご苦労に対し感謝されている。

(1) 徳江南部季節保育所
収容保育児　四四名
保育従事者　三名
責任者　村上　豊一

(2) 塚野目季節保育所
収容保育児　三二名
保育従事者　三名

(3) 責任者　佐久間　直次
大木戸季節保育所
収容保育児　七三名
保育従事者　四名
責任者　八島　福太郎

【写真】上から徳江南部、塚野目、大木戸の各保育所

表彰披露

○勤続議員として
大沼酉治、大波　久
大津利一、佐藤新七
八島建次郎

多年議会議員として地方自治の振興発展に寄与したため全国町村議会議長会長より表彰された

○水道功労者として
厚生課水道係　佐藤福寿
簡易水道普及並びに技術管理者として適正な管理を行なつているため県簡易水道協会より表彰された

○優良保健婦として
厚生課保健婦　渡辺ヨシエ
地区公衆衛生事業に努力したため日本看護協会保健婦会県支部より表彰された

○交通安全
大町南部落交通安全会
新道路交通法の趣旨徹底と交通指導に努め、部落を挙げて事故の防止に功労があつたので県警察本部長並びに県交通安全協会長から表彰された

○交通安全民間協力者として
国見町役場　佐藤清吉
交通事故防止のため街頭における交通指導に協力したので桑折署長及び交通安全協会桑折支部長より感謝状

○組織づくりに協力
安全運転者会長　根本政治
部落交通安全会の組織に協力し適切な指導をしたので前項と同じく感謝状

○優良運転者
佐藤　儀次郎
徳江　源三
高原　菊松
村上　彦吉

佐藤　正司
交通法規をよく守り、常に安全運転をなし、事故防止に努めているので前者より表彰された

座談会

ラジオ農業学校を語る

時…七月三日夜八時
所…青年研修所
人…A　青年団員（男）
B　同　（女）
C　農研会員
D　婦人会員
E　篤農家
司会　農業改良普及員

司会「やあみんな、おつかれのとこ、ご苦労さまだつたなア。ときに、月日のたつのは早いもんで、ラジオ農業学校をはじめてから、三ヶ月になつたなア」

一同「いやあ、全く早いもんだ」

C「ボヤボヤしてつと、一年ばしすぐ過ぎちまうな」

司会「ところで、ラジオ農業学校、うまくきいていたかなア」

A「あつちこつち……」

司会「ぬいたのか」

A「いや、きいた」

B「わたしは半分ぐらいだがそれで精いつぱい」

司会「それで感想は?、役にたつたかい」

B「今すぐというわけではないが、とても面白いわ、特に生活関係で、「保存食」の研究など、すぐためになつたわ」

D「あれ、ほんとによかつたなエ、おらうちでもすぐ作つて、みんなにとてもよろこばれたぞーエ」

司会「そのほか、良かつたと思うことは…」

C「おれは稲作を主として聴くことにしているんだが、肥料の知識が足りなかつたことを痛感したなア。また病虫害の防除ばかりでなく、除草や水温上昇まで薬剤でやることになつてみると、世はまさに科学時代だなア」

A「おれ「レタスの作り方」をきいて、これから西洋野菜を作つてみつぺと思つた」

E「それ、ええことだ。よく研究してやつてみろ。レタス、セルリー、パセリー、花ヤサイ、ピーマンこれからどんどん需要が伸びるとのことだ」

C「研究は必ずみんなで協力してやることだ。一人で十年かかることも十人で手分けしてやると一年か二年で出来ることになる」

E「研究もそうだし、生産の方もある程度まとめて出荷するよう協力しなくてはだめだ」

B「先週土曜日、広島の久保正夫という酪農家は、これからの農民は個人プレーでなく、組織の中の一細胞としての個人となれといつていたね」

司会「Bさんは、なかなかうまいところをきいていたね　A君、青年諸君があまり喜ばないのはどういうわけだい内容から見て…」

A「程度が低い。われわれはもつと高度のものを望んでいる」

司会「中学卒業者を対象に考えているから、君たちのような農高卒や十年選手には物足りないだろうなア」

C「いやア、必ずしも程度が低いとはいえねエぞ、あれで、おれたちにも初めてのことや珍しいことがうんとあつて、ほんとに為になる。学問は土台が大切だ。あいうことが基礎になるんだから、バカにしないでよく勉強しておけよ」

D「ほんとだなエ、これからはおれたち婦人でも一とおりのことを知つておかねエと百姓家の嫁の地位は上んねエなエ。Bちやん、よくきいておかんしようよ」

司会「午前六時半からというのはどうだ」

B「朝仕事の最中で、どこの沙汰でないという声が多い」

E「朝飯の時間で、ちようどいい刻限だ。作業計画を立てるとき、必ずこれをきくということを前提としておけばいくらでも都合できるとおもう。こうしてつとめて勉強しなければ、いつまでたつてもラジオもきけない百姓から浮び上れないのだ」

司会「どうしても都合出来ない人は、公民館から録音機を借りて、全町民みんなできいてもらいたいな」

C「放送きけないときは、テキストを読んだだけでもよくわかる。テキストだけは全家庭に備えてもらいたいな」

司会「一冊一二〇円、日本一良くて日本一安いので評判のテキストだ。今晩はこれぐらいにしよう。集合研修会にはぜひ出て呉れたまえ」

小児マヒの予防接種

七月十日から十四日まで第二回分を終ります。倘前回接種されている方には十月第三回目接種の予定ですからご承知下さい。

夏の健康を護りましょう

衛生思想を向上し、特に夏季における保健衛生の徹底を期し、伝染病を予防するため次の事項をよく守りましょう
(一) 早期受診の徹底
(二) 手洗いの励行
(三) 食品衛生の向上
(四) 過労、暴飲、暴食をやめましょう。

七月は国民年金掛金の払込

心配された国民年金もおいおい改善され、四月から保険料の払込みが行われています七月は、四、五、六月分払込期になつているので、お忘れなく完了して下さい。尚、養蚕、麦類等の収入期でもありますので、割得な前納又は全納の方法をご利用下さることをおすすめいたします。

エチケット……(お酒の巻)

一、自分の健康や経済をよく考えて、ほどほどにのみましよう。

二、家族や友人のことをよく思いやり、生活にプラスになるようなのみ方を工夫しましよう。

三、接待や振舞の酒は、よくその精神をくんで、上品ないただき方をしましよう。

四、宴会などは適当な時間に切上げ、のみ直しやはしご酒はやめましよう。

五、寄附、納税など社会人としてのつとめを果した上でのみましよう。

六、自分の立場をよく考え役得などによるロハ酒は遠慮しましよう。

七、公務員の職場での飲酒はとかく疑惑のまとになりやすい、勤務時間外でもつつしみましよう。

八、個人にしろ、集団にしろ、酒の経理は早くきめましよう。出せる見込みのない酒はのまないことがたいせつ。

九、盃のやりとりなど封建時代の親分子分兄弟分づきあいの遺風を改めましよう。

十、物事を酒で解決するという考え方は、ほんとうの話しあいを基とする民主主義とは似て非なるもの、酒席での話しあいはレクリエーションと考えましよう。

◎ 酒気を帯びての運転は事故のもと、絶対やめましよう。

◎ 酒をのむときは先ず子供の教育ということを考え、応分の貯蓄をいたしましよう。

編集後記

○待望の屋体みごとに完成、偉なるかな金の力!!と共に人の和の力。

○数々の新しい構想を盛り込んだ豊かな施設、設備、殆んど完璧に近い。

○旧屋体よ、長い間お世話になりました。また改めてお世話になりましよう

○酒を飲むなというのではありません。公衆に迷惑をかけないよう、節度ある飲み方をして下さい。

○季節保育所、大いなる感謝のうちに終る。始めたらやめられないものの一つ。

○個人の基本的人権と社会の秩序を両立させるのが人間の人間たるゆえんです。

○よりよい仕事をし、よい生活をうち立てるための学習であつたら、これも大切な仕事です。正々堂々時間をとつて勉強させましよう。

保存食を作りましよう

農繁期を元気にすごすために、おいしくて栄養たつぷりの保存食七つ、ラジオ農業学校テキストより拾つてみました。なお県農業改良課円谷先生のお話は、テープに録音してありますのでぜひ一度おきき下さい。

○するめのみそづけ
○鯨肉のつくだに
○こうなごのつくだに
○こんぶと大豆のつくだに
○切するめのつくだに
○七色づけ
○やながわづけ

「百姓の妻になりたくない」と云うM子さんへ（下）

森江野　Y　M　生

あなた方は、学校を卒業すると、あらゆる機会に、あらゆる方法で「習いもの」と云うものをする。それも農家の妻にも、サラリーマンの妻にもなれる様にである。サラリーマンの妻になりそこなつた時は百姓の妻になる、と云う考えがそうさせるにちがいない。

又母親自身「自分の娘には苦労させたくない」と考えているのだ。百姓の娘が皆、百姓をきらつた時、自分の息子にも娘達は来たがらないのだと云うことを知つてか知らずにか。

女の人達が青年学級や青年団各部の行事の中で一番熱心にやるのは生花と料理のようです。生花など一生懸命習つてどうするのですか。日常生活の中に花をとり入れて暮しにより一層のうるおいを作るという気持は大切でしようけれども、百姓の妻になるのだつたら生花などあまり必要ないと思うのですが。盛花なども飾る場所もないのに習つて、変な所にゴチヤゴチヤ飾るよりも、花だんに咲いているきれいな花を台所の片すみに一輪ざしにでもしておいた方がどれだけ美しいか知れません。料理なども、レストランなどで食る様な料理の作り方よりも、おいしいタクアンづけの作り方とか、キウリやナスがいつまでおいても変色することなく新鮮な色を保ちつづける漬方、あるいは納豆の作り方などの方がはるかにすぐに役立つ勉強の様に思います。

又あなた方は、自分達も男と一緒に野良に出て百姓仕事をするのに、農業生産の学習には全く見向きもしないと云うのはどうしてなのですか。やはり百姓の妻にはならないという考えが支配してですかなりそこなつた時はやはり百姓の妻になる外ないでしよう。然し、サラリーマンの妻にならない、「自分は娘時代サラリーマンの妻になろうと思つたのだから農業生産の勉強はしておかない。だから夫から言いつけられてする仕事はつらい重労働だ。そして百姓の妻ぐらいつらいものはないと思う。だから自分の娘には百姓の妻にさせたくない」

こういつた考えが女の人達の頭の中でぐるぐる廻転しているのではないのですか。

「自分は百姓の妻になるのだ」と思つたら最初から目標をしつかり立て、洋裁和裁、あみもの、はては生花、料理などという習いものと同じく、いやむしろそれ以上に農業生産の学習に我々と一緒に勉強していただきたいのです。そうしておけば、やがて百姓の妻になつた時、夫から仕事を云いつけられるのではなくて、夫と一緒に経営の方針をきめ仕事の計画を立て、自分から進んで動物の管理や、作物の手入をした場合、仕事がつらいとか、娯楽がない、金がなくてひどいなどということなども自然に解決すると思うのです。

しゆうとづとめが大変だなどという問題だつて同じである。「だいたい今どきの嫁は仕事もろくに出来ないくせに口ばかり達者で……」と云うのが姑さん達の本心の様だから………

ずい分と長いことずけずけといつて申し訳ありません。あなたがこれを読んで、「まあ失礼な」とふんがいしている顔が見える様です。でもあなたのお話を聞いて僕はどうしてもいわずにはおれなかつたのです。お気に障つたらお許し下さい。

でも貴女もあかるい太陽の下で、この大自然を相手に限りない希望をいだいて働く事に真実の生きがいを感ずる時がきつとくるでしよう。